

Cisco Unified Communications Managerの権限昇格の脆弱性

Medium	アドバイザリーID : Cisco-SA-20130717-CVE-2013-3433	CVE-2013-3433
	初公開日 : 2013-07-17 16:11	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 6.8	
	回避策 : No Workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCui02276	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified Communications Manager(Unified CM)の脆弱性により、認証されたローカルの攻撃者がシステムの権限を昇格できる可能性があります。

この脆弱性は、特権システムバイナリに対する不適切なファイルアクセス許可に起因します。攻撃者は、システムスクリプトを変更することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。これにより、攻撃者は該当システムを完全に制御できる可能性があります。

この脆弱性の不正利用のデモを実施するための概念実証コードが公開されています。

シスコはセキュリティアドバイザリで脆弱性を確認しましたが、ソフトウェアアップデートは利用できません。

この脆弱性を不正利用するには、攻撃者はターゲットデバイスに対して認証を行う必要があります。認証されたアクセスでは、攻撃者は信頼できる内部ネットワークにアクセスする必要があります。これらのアクセス要件により、不正利用が成功する可能性が制限される可能性があります。

該当製品

シスコは、[cisco-sa-20130717-cucm](#)のリンクでBug ID [CSCui02276](#)のセキュリティアドバイザリをリリースしました。

脆弱性のある製品

Cisco Unified CMバージョン9.1(1a)以前が該当します。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

回避策

今後のアップデートやリリースについては、ベンダーに連絡することを推奨します。

信頼できるユーザだけにネットワークアクセスを許可することを推奨します。

管理者は、特権を持つユーザだけに管理システムまたは管理システムへのアクセスを許可することを推奨します。

Cisco Applied Intelligenceチームは、更新されたソフトウェアを適用する前に、この脆弱性を悪用しようとする試みを特定して軽減する方法について管理者をガイドする、次の関連ドキュメントを作成しました。[Cisco Unified Communications Managerの複数の脆弱性が悪用される問題の識別と影響の緩和](#)

影響を受けるシステムを監視することを推奨します。

修正済みソフトウェア

ソフトウェアの更新プログラムは利用できません。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20130717-CVE-2013-3433>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初版リリース	適用外	Final	2013年7月17日

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。